

福島選手の五輪出場が決まり、笑顔で喜ぶ帯南商高陸上部の部員(塩原真撮影)



福島選手五輪出場

「ロンドンで羽ばたいて」

帯南商高陸上部 喜びあふれ活躍期待

陸上競技の女子短距離で福島千里選手のロンドン五輪出場決定を受け、母校の帯南商高陸上部(32人)では喜びにあふれた。また、

十勝の陸上競技関係者、出身地の幕別町関係者からも称賛と五輪での活躍を期待する声が上がった。

監督は「北京五輪出場から4年間、よく頑張った。生徒たちにとっても『自分の先輩が五輪に出る』と励ましになる。ロンドンで最高

の福島選手と同じ短距離選手の前本優希主将(3年)は「先輩はずっと私たちの目標であり、憧れの存在。五輪出場が決まってくれたい。ロンドンで羽ばたいてほしい」と語った。

(中津川甫)

のパフォーマンスができるよう期待したい」と話す。福島選手が18日に十勝入りする予定のため、激励する意向だ。

管内関係者の声

確実に力付いた

■十勝陸上競技協会理事長、北海道陸上競技協会副会長の杉野睦夫さん 前回の北京は将来性を見込まれたもので、今回は実力で選ばれた。走りが安定して確実に力が付いている。風格も感じる。他地域で競技人口が減る中、十勝では数年前より増えている。福島さんの影響なのでは。外国人選手と戦う姿を早く見たい。

連続出場に意義

■十勝陸上クラブの柳橋敏雄顧問 素晴らしいの一言。連続出場に意義がある。努力を継続したのだろう。足のさばきなど走りは進化している。本来のスタートの良さだけでなく、勝負強さも加わった。十勝でも千里先輩を目標にしている子供は多く、活気が出ている。

学校に陸上部も

■出身校・幕別糠内中の塚原雄二校長 生徒一人一人が喜んでい。学校の誇りだ。今年4月には男子陸上部ができ、先輩を目指して頑張っている。五輪では自己ベストを期待している。18日の幕別町での壮行会で福島選手に手渡そうと、糠内小の児童とメッセージを書き込んだ旗を一生懸命作っている。

町民にとって誇り

■幕別町の岡田和夫町長 4年間頑張ってきた成果が出た。山本幸平君(マウンテンバイク)と2人とも2大会連続の出場は町や町民にとって誇り。五輪を経験しているの、今大会での活躍に期待している。1つでも多く走られるよう頑張してほしい。